

春日町15周年記念事業

The History of Kasuga-chou

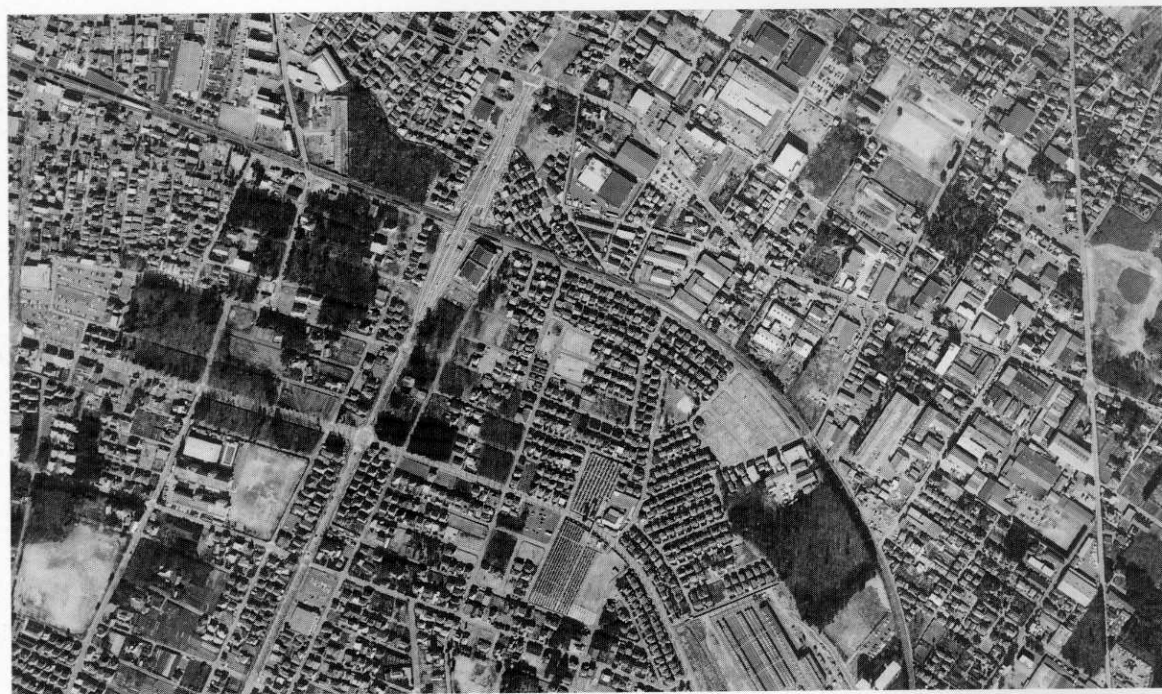
春日町  あゆみ

春日町第1自治会
春日町第2自治会

春日町近郊、航空写真

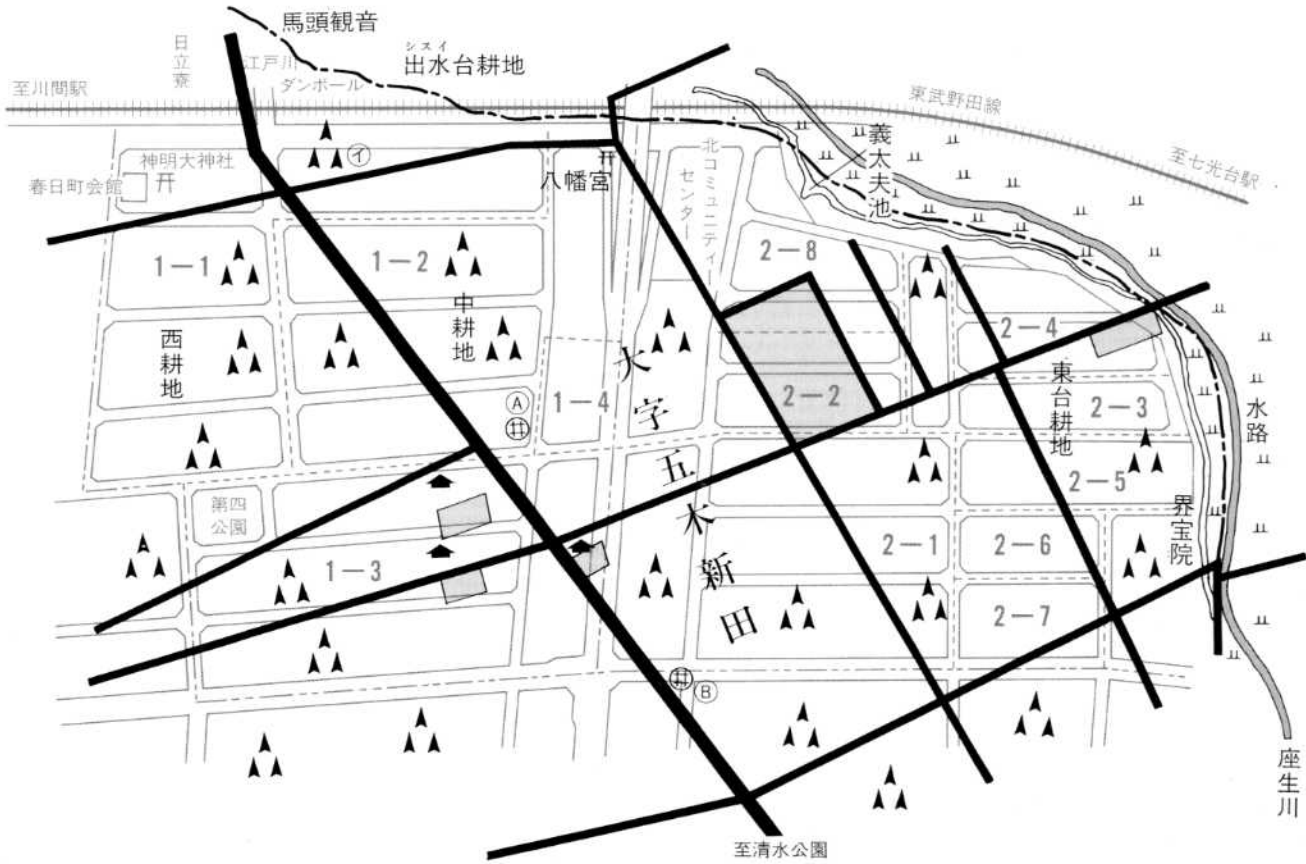


昭和47年撮影



平成6年撮影

春日町旧道路地図と現在の配置図



(大正末期図 製作者：岡部高一氏)



現第一家電うしろ側(図中①の地点)、林の中の道
昭和42年2月 写真提供：木内重明氏

- (1)古井戸①は、岡部多左衛門氏の屋敷跡。
古井戸②は、岡部喜左衛門氏ゆかりのもの。
- (2)東武線は昭和に入って開通したものが地図作成上仮に記入した。

旧道路	———
旧境界線	- - - - -
自治会境界線	— · — · —
班境界線	- - - - -
家	▲
古井戸	⊕
山林	▲▲
水田	≡
畑	■

街のルーツを求めて

第三代町会長 寺田 禎之

街に歴史あり。自然があり、やがて人が住みつき部落をつくる。最初は3から4軒の小さな部落も、村になり、そして大勢の人が住み街となる。いろいろの職業の人達が互いに協力し、肩を寄せ合って幸福な生活を営む。自然と人間が共生し、人間と人間が折り合いをつけながら睦み合う。これが街だと思う。自治会・町会はこのために存在するといっても過言ではない。

春日町会も成立して15年になる。会員の皆様の御協力によって、ここまでやってこれたと感謝に絶えない。周辺の自治会、商店会の皆さんとの共生も忘れられない。市長さん議長さんなど役所の方々のかわらぬ御支援にも感謝したい。ことにこの自治会・町会を創業された人達、いわゆる井戸を掘った人達のことを忘れては水を飲めない。さらにもっと古く江戸時代からこの地に住みはぐくまれた人達の苦労を忘れてはなるまい。そういう諸々のことを一度振り返り、歴史を訪ね、われわれの活動を記録にとどめておくのも街づくり活動の一つだと信じ、小誌を編集した次第である。編集に努力された神尾委員長はじめ委員の方々、原稿を寄せて下さったの方々、街の大先輩、岡部高一、岡部はる、岡部明周各氏の御協力に心から感謝し、ごあいさつといたします。



左より第一代町会長 故 高嶋氏、第三代町会長 寺田氏、第二代町会長 及川氏

春日町15周年を祝して

野田市長 根本 崇

春日町町内会が、めでたく発足15周年を迎えられ、記念誌「春日の歴史(あゆみ)」を発刊されますことは、まことに意義深く、心からお喜び申し上げます。

一面の平地林が整然とした住宅地になり、春日町の誕生したのが昭和55年5月3日、この日は、野田市制30周年の記念日でもありました。それから15年、その歩みとともに立派な自治組織としての足跡を残され、今日を迎えられましたことに深く敬意を表します。

野田市は今、市の特徴的魅力を探り出し、潜在的能力を把握し、実態を捉えながら「緑のふるさと野田」推進に向けて取り組んでおります。これは人間性を豊かにするとともに、健康で文化的な生活を営むうえでの基本となるものです。春日いちょう通りは、過日「新日本街路樹百選」の一つに選ばれました。春日町が、緑に囲まれ心の通う魅力あふれる町として、ますますの御発展を祈念して、お祝いの御挨拶とさせていただきます。



第19回 春日町クリーン作戦 平成4年7月

クリーン作戦発祥の地

前野田市長 川島 健正

市長に就任してから、今まで接触の少なかった地域を見学することにした。

春日町という街あり。寺田さんという人にあう。「今度の市長はどんな者かいな」とばかり話がはずんだ。お付合いをさせてもらう。

この辺は、未だ介在林等が多く、そこに不法投棄が多く見られた。街づくりに熱心な有志が集まって、「自分たちの街は自分たちの手で」をスローガンに、コミュニティは環境美化運動から立ち上がった。心行一体のクリーン作戦で模範の先鞭を切ったのである。

村の鎮守「神明大神社(通称・春日神社)」も、みんなで御改修をされて町のシンボルとして崇拝している。公園には桜等を植えて、元旦の初詣でから、お花見、夏まつりと、町民みんなで楽しんでいる。

この町が、会発足15周年を迎えて、あゆみを振り返り、更に前進させようと、誌を編む。

次代の人に自慢のできるふるさととして。これぞ郷土愛のなにもでもない。有賀太意。



第12回 春日町クリーン作戦本部 現・立体交差道路地点。昭和63年12月

心のふれあいまち

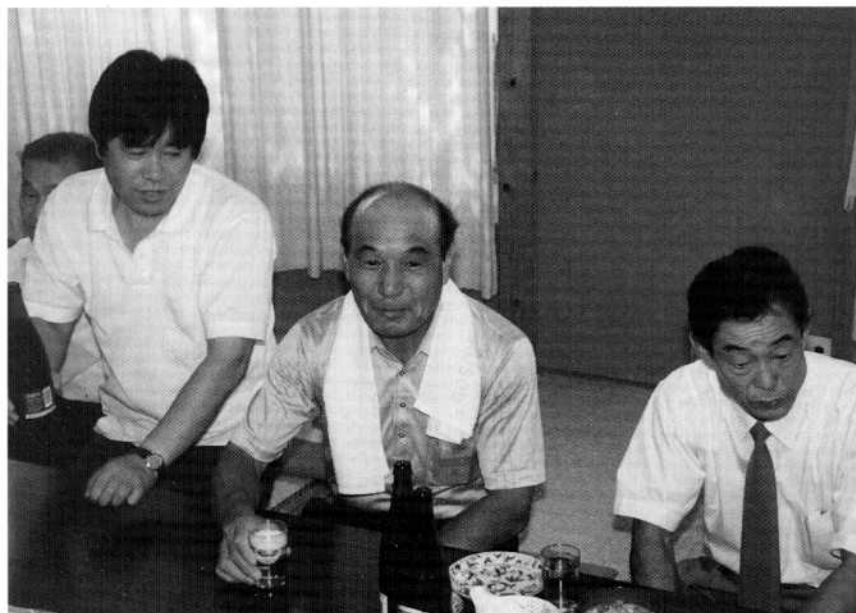
野田市議会議員 飯塚 武

みんなでやるから楽しい。みんなが参加するから盛り上がる。春日町の酒がうまい、楽しいからうまい。「お祭り」「クリーン作戦」何事も全員参加。みんなで参加した運動会で2位に入賞した。次回は優勝だろう。

春日町の楽しい仲間が沢山できた。お世話になってから、いつの間にか約十年が過ぎている。今では春日町の住民のような顔をしておつき合い頂いている。何か温かさを感じる春日町が益々好きになる。

それぞれの役員さんが、自分の役割をきちんと果しているから、住民が自分たちの街を住み良くする手段、方法をわきまえているから、楽しさが盛り上がり、温かさがにじみ出るのだろう。

道路や上下水道などが完備しているばかりでは住み良い街とは言えない。心のふれあいを大切にする住み良い街造りのモデルとして、春日町の存在は益々重くなる。皆様方のご健勝と繁栄を心からご祈念申し上げたい。



「加藤氏激励会」左より岡部第1自治会長、飯塚氏、加藤氏。平成6年夏

思い出

第二代町会長 及川 勝三郎

昭和41年5月春うらら。私は野田市五木新田62番地沢井製缶社宅に、東京都荒川区から転居して来ました。

回りを見ると、北は田ンボ、西に人工池と畑、東と南は雑木林に囲まれた静かな台地で、夏の夜などホタル・カブト虫達が家の中に入ってくる、自然が残るすばらしい環境に囲まれていました。

東京から、夜帰ってくると、川間駅で降りる人は二人ぐらい。家に帰るのに真っ暗で、わずかな外灯がたよりの静かな村でした。

47年10月今まで静かな村に、ダンプ車・ブルドーザの音が響き、区画整理の工事が始まり、9年がかりで新しい町が完成し、54年5月春日町が誕生。55年秋、春日町会館が完成して、新生春日町自治会がスタートし、現在の発展をみたわけです。

私は春日町自治会発足の時から色々な行事に参加し、大勢の人々に出会い、数々の楽しい思い出を後に、平成元年1月市内七光台地区に転居しました。春日町での長い生活は、私の一生の思い出として忘れる事が出来ません。

今後も、春日町自治会の益々の発展と、会員の皆様のご健康を心から御祈念申し上げまして私の思い出とします。



夏まつりより 昭和62年8月



後方は三角公園方面

写真提供：木内重明氏

思い出

高木 慶子

主人が子ども会の会長に！ 我が家にとって大袈裟でなくまさに晴天の霹靂の出来事でした。

昭和54年3月に一家4人で引越して7年目、不義理をしない程度の町会とお付き合いが新住民にとってのマナーと心得て、子どもの成長を楽しみに過ごしていた時のことでした。毎晩の要請に辞退できないものとあきらめ、私も役員の順番ということもあり共に頑張ろうと覚悟を決めました。

当時子どもの人数もピークにあり活気に溢れた子ども会であったように思われます。次々に計画される行事「新入生歓迎会、花壇づくり、キャンプ、お祭り、畑づくり、映画等」に戸惑いながらもめり込んでいく自分を思い出します。

役員を終えて、子ども達を通して地域を知る事ができたように思われます。親達が交代で役員になることで、子ども達の様子を知る人が増えます。それは我が子が大勢の大人達に見守られ、安心して過ごせる事に繋がるのだと思うのです。

3年前、事情で岩名に引越しをしましたが、12年間過ごした春日町が我が子にとってすてきな故郷、私達にも第二の故郷となりました。「仕方なく引き受けた役員」の贈物……。秋の夜長、一杯飲みながら主人と思い出話に楽しい一時を過ごしました。

春日町の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



写真中央、高木さん 昭和63年7月



子供会キャンプ「第四公園」写真中央、高木氏 昭和61年7月

各部行事

春

- 植樹
- 観桜会
- 子供会
- 旅行
- ソフトボール大会
- 少年野球



桜植樹「第四公園」昭和59年4月



根本市長寄贈、みかん植樹。平成6年4月



つつじ植樹 昭和60年4月



観桜会 平成5年4月



観桜会 平成6年4月



子供会江戸川護岸クリーン作戦 昭和61年6月



霧降高原の旅行 昭和62年6月



婦人部旅行 平成3年5月



筑波山登山 平成3年3月



一年生を迎える会 昭和60年4月



町内ソフトボール大会 昭和61年5月



町内ソフトボール大会 平成2年5月



ファイヤーバードのメンバー



ファイヤーバード試合終了後

各部行事

夏

- 子供会キャンプ
- クリーン作戦
- 夏祭り



子供会関係者
平成2年7月

第四公園にてキャンプ
昭和62年7月



第1回子供会キャンプ 会館で映画会 昭和58年8月



田中俊三氏の林の中でキャンプを行う 昭和59年8月



清水公園でキャンプを行う 平成2年7月



朝のラジオ体操 清水公園にて 平成3年7月

